



令和8年5月15日

報道機関 各位

花月文庫朗読会 声でたどる江戸文学 江戸の「粋（いき）」にふれる朗読会

毎月1回、土曜日の閉館後に行っているNPO法人上田図書館倶楽部との共催事業です。6月は下記のとおり実施します。

大勢の方にご参加いただきたいため、周知等よろしく申し上げます。

詳細は添付のチラシをご覧ください。

- 日時 6月20日（土）18：45～20：00（開場18：15）
- 場所 上田情報ライブラリー「ことばの繭ホール」（上田駅前ビル・パレオ4階）
- 朗読 あおき ゆうこ
青木 裕子氏
- 内容 別紙、チラシのとおり
- 定員 先着70名
- 参加費 無料（要予約）
- 申込み 5月23日（土）以降、電話（TEL:0268-29-0210）、
または直接上田情報ライブラリーへ

上田市は「SDGs 未来都市」です。



上田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

本件に関する問合せ先

上田市教育委員会 上田情報ライブラリー
館長 中村（担当者 野口）

TEL 0268-29-0210

休館日：火曜日、5/20、5/21、6/3

花月文庫朗読会

声でたどる江戸文学

江戸の「粋(いき)」にふれる朗読会

江戸の人々の暮らしや心情にふれながら、ことばの響きをゆったり味わうひとときをご一緒に。
当日は、現代語に近い読みやすい翻刻資料をお配りしますので、初めての方でも安心してお楽しみいただけます。

プログラム

● 古契三娼 (こけいのさんしょう) 山東京伝作・画

近代日本文学大系第11巻 洒落本代表作集 より 1787年刊記

深川「お仲」、吉原「およし」、品川「お品」の三娼はいずれももと傾城、美しい遊女だった。華やかだったかつてと裏腹に、中年になった今は借家暮らし。卯月の半ば、お仲が亭主の留守におよしとお品を誘い、3人でおしゃべりが始まる・・・「女といへる文字を三つ書いて姦(かしまし)とよむ・・・」

遊女たちの客とのやり取りや日々の生活など、洒落た言葉や当時の流行ことばを交えての会話が「粋」。

● 落はなし「亥歳の結婚」三遊亭圓遊 口演 (おとしばなし「いどしのけっこん」)

「小さん 圓遊 落はなし」より 出版 盛華堂 明治35年 編著者 柳家小さん、三遊亭圓遊：口演
圓遊の落語を朗読でお楽しみください。

「花月文庫」は 上田市の銀行家として活躍した飯島保作(号：花月 文久3年～昭和6年)が残した江戸文学、近世庶民文化及び郷土資料の集積です。現在、上田市立上田図書館に所蔵されています。2025～2026年度、花月文庫の小説など一部資料がデジタル化され、信州地域史料アーカイブから原本と共に視聴できます。



朗読 青木裕子 (あおきゆうこ) プロフィール

一般社団法人軽井沢朗読館館長、朗読家、元NHKアナウンサー

1973年、津田塾大学国際関係学科卒業後NHKに入局。37年間、一貫して現場でアナウンサーを勤める。2010年6月定年退職。NHK総合テレビ「スタジオ102」、「NHKニュースワイド」「おはようジャーナル」「くらしのジャーナル」などでキャスターやリポーターをつとめ、テレビラジオで活躍。ラジオ第一放送「ラジオ文芸館」や「ラジオ深夜便」で朗読番組の制作・朗読をライフワークとし、その延長で退職後、軽井沢に私費で建てた「軽井沢朗読館」の館長を勤め、朗読や音声表現の楽しさを広め伝える活動を全国でおこなっている。2013年1月より軽井沢町立図書館館長、日本文藝家協会会員

朗読番組「軽井沢朗読散歩」(FM軽井沢)放送中!各週(土)夜9:00～9:30 再放送は翌週(土)夜9:00～9:30 詳細は番組紹介のページにて!

<http://fm-karuizawa.co.jp/introduction.html>

青木裕子氏

2026.6/20

受付 18:15 開演 18:45

場所 上田駅前ビルパレオ4F

上田情報ライブラリー ことばの繭ホール

申込 込：5月23日(土)～上田情報ライブラリーにて受付 電話 29-0210 (休館日 火曜日、6/3)

入場料：無料(要予約)

定員：70名 お問合せ：上田情報ライブラリー

市営上田駅前城口第二駐車場が最寄りの駐車場です。ご利用の方は混雑する場合がありますのでお早めにお出かけください。黄色い駐車券をお持ちください。

